

## 将来のことを考えて行動を！！



進路だよりが皆さんの手元に渡るときには体育大会が終了しているかと思います。雨の影響でプログラムに若干の変更がありましたがいみなさん楽しみましたか？1学期の稲高祭に続き、たくさんの思い出を残せたかと思いますが、2学期はあと2か月あります。燃え尽きたということが無いよう2学期末まで気を引き締めて学校生活を送るようにしてください！！

話しが変わりますが、先日実施された中間テストの出来はいかがだったでしょうか？計画的に勉強を進めることが出来たか？今回のテストで失敗したと感じたようでしたら同じことを繰り返さないよう期末テストは計画的に準備を進めるようにしてください。

1・2年生の皆さんへ。本年度、上級学校の広報の方々と話をするなかで話題に上がるのが「年々、高校生の願書の出願時期が早くなってきている。」ということです。本校も昨年度と比較してもAOでの受験希望者が大幅に増えているように感じられました。これからの時期、1・2年生対象のOC（オープンキャンパス）が増えてきます。日程を確認して必ず複数の上級学校のOCに参加し、学校を決定するようにしてください。同時に、欠席日数や成績は3年生になってからでは挽回は出来ません。こんなはずではなかった…とならないようにするためにも、毎日の学校生活を充実させる。これが1・2年生の皆さんが今やるべきことです！！

3年生の皆さんは、自分の進路が決定し、ホッとしている人もいますが、これから試験に臨む人もいます。そのような人たちの邪魔をしないようにしてください！！自分の進路が決定したから良いのではなく、3年生全員の進路が決定するまで協力する気持ちを忘れないようにしましょう。

また、残りの学校生活をどのように過ごしていくのかをしっかりと考えるようにしてください。思い出作りのためだけに気が抜けた学校生活を送ることだけはやめるようにしてください！！

## 10月・11月の予定



- 10/26 (土) マーク模試 (3年生希望者)
- 10/27 (日) マーク模試 (3年生希望者)  
看護模試 (3年生希望者)
- 10/29 (火) 学年懇談会 (2年生修学旅行説明会)
- 10/31 (木) 保育実習 (1年生)
- 11/ 1 (金) 朝礼
- 11/ 2 (土) オープンスクール
- 11/ 3 (日) 総合学力テスト (1・2年生希望者)
- 11/ 5 (火) 代休
- 11/ 6 (水) 津波防災訓練
- 11/ 7 (木) 進路ガイダンス (2年生)
- 11/ 8 (金) 漢字能力検定 (希望者)
- 11/16 (土) 公務員模試 (2年生希望者)
- 11/20 (水) 卒業生講話 (2年生6限)・地域の人々と語る会 (1年生)

体育大会お疲れ様でした！1、2年生はこの後インターンシップ、修学旅行と行事が続きます。楽しむことも大切ですがそうした行事が自分の糧になるように目標、目的を持って参加するようにしてください！！



### 3年生の進路決定状況



先月9月16日(月)から、就職試験が始まり、各企業より結果が届いています。本年度の3年生は昨年度と比較すると就職希望者の人数が若干多い傾向(学校求人による就職希望者19名、自己就職、公務員希望者9名)にありますが、面接練習や苦労して履歴書を作成した甲斐もあり良い知らせを受ける事が多いです。今年の3年生も昨年度の先輩に負けないくらい健闘しています! なかには悔しい結果もありますが、あきらめな~~い~~いで挑戦し続けましょう! 就職希望のみなさん、最後まで頑張りましょう!!

## 速報

就職  
おめでとう!



管内	伊豆ヘルス・ケア (株)ホテル銀水荘 (有)正木石油商会(2)
県内	(株)赤沢温泉郷 (株)伊豆急コミュニティ 伊豆急行(株) 伊豆箱根バス(株) (株)エスラインギフ富士支店 (株)斉藤組 (株)サンザ (株)静岡中央銀行 セコム(株) (株)トクラ販売事業部 山本建設(株)
県外	(株)横浜ハーベスト 新横浜プリンスホテル

一方、進学希望者の動向ですが専門学校を中心にAO入試でチャレンジした生徒の結果が届いています。

看護・医療	昭和医療技術専門学校 富士リハビリテーション専門学校 他
衛生 / 美	コーセー美容専門学校
衛生 / 食	西東京調理師専門学校
教育・福祉	横浜こども専門学校
工業	静岡工科自動車大学校
文化・教養	代々木アニメーション学院 大原トラベル・ホテル・フライダル専門学校

進学希望者の皆さんも試験に向けて面接練習や筆記の勉強を頑張ったと思います。受験結果を待っている生徒、まだ試験を控えている生徒もいますが良い結果が届くことを期待しています!!

上級学校への進学の方法ですが、本年度は総合型やAO入試を希望する生徒が多かった一方、**推薦制度を利用しての進学希望者も複数名**います。



### 管理職面接の資格を得るための条件

**推薦制度とあるようにこの制度を利用するためには「推薦」が必要となります。**この「推薦」とは上級学校から示される評定平均や成績や欠席日数などの基準を満たしていることはもちろんですが、それ以上に「**校長先生からの推薦**」が**必須条件**になります。推薦を希望する生徒は管理職の先生方との面接を行います。そのためには下に挙げる5つの条件を満たしていることが必要です。



1. 進学に対する動機がはっきりしており、保護者とともに推薦を強く希望していること。
2. 授業において向上心を持ち取り組んでいる生徒であること。(授業中に寝たりしないこと)
3. 学校生活において、基本的な生活習慣が身につけている生徒であること。(服装や頭髮に乱れがないこと)
4. 進学先でもしっかりとした態度で生活を送ることができる生徒であること。
5. 試験に合格した後も落ち着いた高校生活を送ることを約束できる生徒であること。

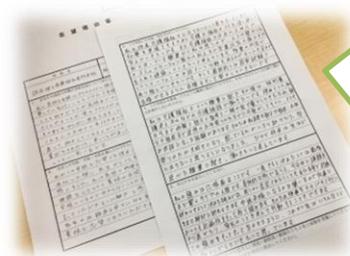
このことから1、2年生の皆さんが3年生に進級し、推薦制度を利用するうえで日々の学校生活がとても大切になるといえることがお分かりだと思います。つまり、**校長推薦の条件**というのは「**自分自身の進路について真剣に考え、高校生活を充実させ自分自身を成長させた**」という意味もあるのです。ですから、**できていないことがあっても、今から改善されれば、推薦の対象になります。**反対に指導されたにもかかわらず改善されなければ、**推薦はされません。**

生活面がしっかりしていけば、自然と学習に対する取り組みもより良いものになっていきますし、前向きな気持ちで進路を考えていくことにもつながっていきます。推薦制度で進学をするしないにかかわらず、この機会に自分の生活や学習への取り組みを見直し、自分や周りに甘えた気持ちをなくして、自分のために努力しましょう。

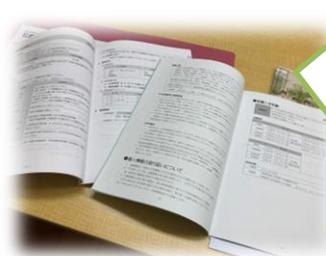


### 管理職面接の資格を得るための条件を満たしていたら

**志望理由書を作成し、管理職の先生方との面接を実施**します。その面接で皆さんが本当に推薦にふさわしい人物か最終的な判断をしていただきます。**志望理由書は「高校生活について」「進学したい学校を選んだ理由」「進学後に何を学びたいか」「卒業後どのような仕事に就きたいか」「自己PR」の5つから構成**されています。



本年度の3年生も志望理由書の作成に苦労していました…。事前準備が大切です！！



並行して志望する学校の推薦基準に達しているか確認しておきましょう！

志望理由書を完成させるためには、高校生活で得た自分自身の経験・体験を整理し、自分のことを見つめ直す「**自分自身の過去を振り返ること**」、学校のパンフレットやホームページを閲覧したり、オープンキャンパスに参加し「**志望校について調べること**」が必要になります。とくに「**自分自身の過去を振り返る**」ときには**各学期に作成しているポートフォリオを参考にすると**良いでしょう。



上級学校の入試では推薦制度やAO入試に付随して「特待生制度」を設定している学校もあります。特待生として認められると入学金の免除や、授業料の減免など様々な恩恵を受けられることから本校でも特待生の試験にチャレンジする生徒が多くいます。そのようななか、特待生の面接練習をお願いされることがあるのですが、特待生制度を正しく理解していない生徒も多くいるように感じられます。ここでは改めて「特待生制度」とは何かを説明したいと思います。

### そもそも特待生とは？

特待生（とくたいせい）とは、入学試験や在学中の成績優秀者等に対して、学費の一部、もしくは全てが免除されたり、奨学金の支給などの特別な待遇を受ける学生や生徒である「特別待遇学生」「特別待遇生徒」の略語、また制度そのものを示す言葉として、教育現場等で広く用いられている。（ウィキペディアより）とあります。もう少し別の言い方をすれば、「学業や素行が優秀であり入学後も他の生徒の模範となり活躍ができるであろう人物」ということになると思います。

### 特待生の志望動機の例

#### 本校の多数の生徒がこのように答えます

私が特待生を志望した理由は、特待生として認められれば授業料の減免を受られるなど学費が安くなると考えたからです。



このような志望理由は特待生制度の趣旨から全く外れていると考えてください。

私は高校の定期テストでは、常に学年1位を目標に勉強してきました。その努力が実り、高校3年間の定期テストで学年1位をキープしてきました。この姿勢を貴校入学後も続け他の学生の模範となることができると考えているため特待生を志望しました。



自分が他の学生よりも優れているところをしっかりとアピールすることによって特待生として認められます。

私は3年間運動部に所属し練習に励みました。練習は大変でしたがそのことを言い訳にしないよう日々の授業にもしっかりと取り組みました。その結果、部活動では全国大会へ出場、勉強では常に上位にランクしていました。貴校では座学ばかりではなく実習も多いと聞いています。高校での経験を生かし座学と実習のどちらに偏ることなく勉強に励むことによって他の学生の模範となることができるため特待生を志望しました。

さらに、

その学校に入学し学校生活の中でどのような知識や技能を身につけたいか？

や

学校卒業後はどのような進路(どのような会社に就職したいか)に進みたいか？

といった入学後や将来に対するビジョンをしっかりと持っているかも特待生面接では求められます。

また、面接だけではなく高校の成績や入試の筆記試験の得点で特待生として認められたり、選考のために別途筆記試験も実施されることがあります。特待生として認めてもらうためには1、2年生のうちから高校生活を充実させ、他の生徒に負けない資質と能力を身につけておく必要があるのです！！